

# 療養費支給申請書（立替払等）記入例

健康保険 被保険者 療養費 支給申請書 立替払・治療用器具  
家族

1 被 保 険 者	①被保険者証	記号 0000 番号 654321	②生年月日	昭・令 〇〇年 〇月 〇日
	③氏名(申請者)	(フリガナ) サンギョウ タロウ 産業 太郎		
2	④住所(申請者)	〒 105 - 0014 東京 (都) 港区△△〇-〇-〇 △△△マンション〇〇号室	⑤電話番号 (日中の連絡先)	090 (××××) ××××
	⑥事業所名称	㈱ □□□□		
⑦療養費の決定をするにあたり、当健康保険組合が関係機関等へ照会すること、また関係機関等が回答をすることに対して同意します。なお、本書の写しも有効であることを認めます。			被保険者氏名 (申請者氏名)	産業 太郎

【ご注意ください】 家族(被扶養者)の方の療養費であっても、被保険者情報の欄には、被保険者の氏名、生年月日、住所などをご記入ください。

3	⑧受診者(どちらかに✓)	<input type="checkbox"/> 被保険者 <input checked="" type="checkbox"/> 家族(被扶養者)	⑨発病又は負傷年月日	昭・平・令 31年 4月 1日
	⑩家族の場合はその方の	氏名 産業 花子	生年月日	昭・令 〇〇年 〇月 〇日 続柄 (妻)
4	⑪傷病名	胃腸炎		
	⑫発病又は負傷の原因 (詳しく)	業務外・業務上・通勤途上 (何をしていて) ※業務上・通勤途上(被扶養者の場合はパート・アルバイトを含む)の場合は、労働基準監督署にご相談ください。 食事をしていて		
5	⑬傷病の原因は相手がいま すか(交通事故やケガ等)	はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> (「はい」の場合は、「第三者行為による傷病届」の提出が必要です。(過失割合に応じて組合から相手に請求 します。加害者から組合負担分の治療費を受け取っている場合は、療養費の請求はできません。)		
	⑭診療を受けた病院等	名称 〇〇病院	所在地 東京都港区△△×-×	⑮診療した医師の氏名 〇〇 〇〇
6	⑯診療期間(支給期間)	昭・令 31年 4月 1日 から 昭・令 31年 4月 5日 まで (日数 2日)		
	⑰上記期間に入院して いた場合はその期間	平・令 年 月 日 から 平・令 年 月 日 まで (日数 日)		
7	⑱療養に要した費用	×,××× 円		
	⑲診療の内容	検査を受け、薬を処方された		
8	⑳療養の給付を受ける ことができなかった理由(該 当するものに✓)	<input checked="" type="checkbox"/> 被保険者証を持っていないため(理由 扶養加入手続き中で、被保険者証が届いていなかった為。 ) <input type="checkbox"/> 以前加入していた保険者の被保険者証を使用してしまったため <input type="checkbox"/> 医師の指示により治療用器具を作成したため <input type="checkbox"/> 医師の同意を得て鍼灸マッサージ施術をしたため <input type="checkbox"/> 海外の医療機関で受診したため (理由 ) <input type="checkbox"/> その他 (理由 )		

※ 傷病の原因が第三者の行為による場合は、「第三者行為による傷病届」の添付が必要です。

5 委 任 状	②被保険者 (申請者)	本申請の提出を事業主へ依頼し、給付金の受領は受任者に委任します。 氏名 産業 太郎 令和 元 年 5 月 10 日
	②受任者 (事業所)	氏名 ㈱ □□□□ 代表取締役 △△ △△ 受任者氏名は当健康保険組合に提出 している給付金振込依頼書と同一にして ください。

6 備考

②社会保険労務士の  
提出代行者名記載欄

受付日付印

訂正する場合は、訂正箇所にも二重線で抹消し、正しい内容と証明者の氏名(サイン)をご記入ください。

- 被保険者証に記載されています。
- 被保険者が亡くなられて、法定相続人の方が申請される場合は、申請される方の氏名をご記入ください。  
(住所も同様です。)
- ⑬欄で「はい」の場合は「第三者の行為による傷病届」を一緒に提出してください。(第三者の行為による傷病届は当組合のホームページよりダウンロードできます。また当組合から郵送もできますのでご連絡ください。)
- ⑯欄は、療養の給付を受けることができなかった理由に○を付け、下記のく添付書類を参考に書類を添付してください。なお、「オ.その他」の場合は具体的に理由を記入してください。
- 在籍中の方は全て事業所への委任払いになるため、委任状の⑯欄には被保険者の署名または記名をし、⑲欄は事業所が署名または記名をしてください。受任者氏名は当健康保険組合に提出している給付金振込依頼書と同一にしてください。また、事業所を辞められた後の申請の場合は事業所への委任払いのほか、個人口座へお支払いも可能です。申請書の余白部分に、被保険者(申請者)名義の口座で金融機関名・支店名・種別(普通・当座)・口座番号・口座名義(フリガナ)をお書きください。(個人口座へお支払いを希望される場合は委任状は不要です。)
- 被保険者証の記号番号に代えて個人番号(マイナンバー)により申請する場合は、備考欄に記載してください。(個人番号を記載した場合は、個人番号確認、本人確認をするための添付書類が必要です。)

## 添付書類

医療機関等の窓口で診療に要した費用の全額を自己負担している場合	<b>① 診療報酬明細書(レセプト)※の原本</b> 『診療明細書』では傷病名が記載がないので、必ず『診療報酬明細書(レセプト)』を添付 <b>② 領収書(領収明細書)の原本</b>
以前加入していた保険証で医療機関等を受診し、前保険者へ診療に要した費用を返還した場合	<b>① 診療報酬明細書(レセプト)※の原本</b> (前の健康保険等(国民健康保険、協会健保、〇〇健康保険組合等)から送付されたもの) <b>② 領収書(領収明細書)の原本</b> (前の健康保険等(国民健康保険、協会健保、〇〇健康保険組合等)から送付されたもの)

※ 薬局の場合『調剤報酬明細書(レセプト)』